



まあ、どんな名前も
らっても僕が偉くな
るわけでもないの
すが。ある講演会
主催者が気を利かせ
てくれて、ポスターに僕の肩書を「新
宿区開業・准教授」なんて掲載してく
れました。すぐに連絡して「歯科医師」
にしてみました。本人は気にし
なくても周りが気にするという厄介
なものだということが分かりました。

歯周病の治療

歯科としてのメジャーな考えでな
いので「ふくん」位に聞いていただけ
ればと思います。

そもそも歯周病科の先生の考えに
はとても懐疑的でした。それは学生

時代からです。歯ブラシ1本で歯周
病を予防でき、治療ができる、歯周病
になる人はブラッシングが悪いんだ
的な短絡的な発想がとても肌に合
いませんでした。それによって歯磨き
教の信者を増やして喜んでいるのも
嫌だし、歯周病が進行してくると歯
ブラシの仕方がなっていないと怒る
歯医者もいっぱい見てきました。

個人的には歯周病は結果であり、
環境的に重度化しやすい状態ではあ
るだろうなあと思っており、絶えず
その原因は何か、歯科でできる改善
は何かを考えてきました。例えば嚙
み合わせを改善したり、歯ぎしりが
ひどければマウスピースを入れると
か。もちろんひどい歯石などは取っ
て重度化しない環境づくりを考えて
います。

しかし、後を絶たないのは歯周病

菌を除去する薬の類です。歯周病の
原因は細菌↓細菌を除去する↓歯周
病が治るという発想は分かりやすい
です。しかし、口の中の細菌をコン
ロールすることはできても、完全
除去することはできません。無菌室
で無菌の食事をするわけではないの
ですから。もちろん一時的な効果は
あるかもしれませんが、すぐに細菌
は戻ってきます。

まあ、僕は学術的な裏付けはあり
ませんから公に異議を唱えることは
ありませんが、新たに作戦を考えま
した。歯周病菌を完全に除去すると
いう薬を使用しながら、暴飲暴食、寝
不足、運動不足、深酒…ありとあらゆる
方法で歯周病を進行させてやろう
かと！問題は歯周病は治らないとい
うこと…